

1 単元名 「酒匂川水系生態調査プロジェクト（仮）」

2 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	学びに向かう力・人間性等
①課題解決のために必要な情報を、自分なりの方法で調べている。 ②調査活動を継続して行うことは簡単ではないことを体験的に理解し、友達と協力したり改善したりしながら取り組んでいる。	①総合のゴールに向けた道筋を自分なりに考え、伝えている。 ②課題解決のために集めた複数の情報を、比較したり関連付けたりしながら分析し、実際に取り組む内容を選択判断している。 ③総合のゴールの達成を目指す上で必要なものを出し合い、活動費用10万円のよりよい使い方について考えている。 ④伝える相手や目的を意識して、プレゼン・図鑑・アニメ等の資料にまとめ、わかりやすく表現している。	① 伝える相手や目的を意識して、よりよい発表にするために粘り強く取り組もうとしている。 ② 探究の過程を振り返り、総合の学びのよさを再認識し、次の学びに生かそうとしている。

3 教材のとらえ

本学級で決めた「テーマ成立の条件」は、①他の教科の学びを活かせること、②長い時間かけて探究できること、③全員が協力できること、の3つである。その条件に合う活動として子どもたちから出された案は「アニメを作りたい」ということであった。しかし、「何のアニメを作るのか」「誰に向けて作るのか」といった視点が弱く、話し合いが停滞していた。

そこで、担任が目にした「河川教育とりくみ支援」という制度を子どもたちに紹介してみた。この制度は、公益財団法人河川財団が川や水を題材・教材に総合的な学習、探究的な学習にとりくむ準備や活動をする学校を対象に助成金を交付するものである。私たちの桜井小学校のそばには酒匂川や仙了川が流れており、田園地帯のため用水路も張り巡らされている。そうした環境の中、生態系を調査したり、川の環境調査をしたり、助成金を活用しながらダイナミックな総合学習を行えることはとても魅力的に感じた。制度に応募しても事前審査があり採択される学校数は限られるため、必ずしも希望が通るわけではないことを子どもたちに伝えましたが、「それでもやりたい!」「楽しそう!」と反応が返ってきた。そして、アニメを作ることも統合する形で、テーマが「酒匂川と用水路の生態系・環境調査」に決定した。

今回は、教師による紹介で成立したテーマではあるが、地域を活かしたり、自分たちでプロジェクト型の学習を進められたりする非常に魅力的な材であり、財団からの支援が決まれば金銭的な制約も少ない中で単元づくりができるので、熱量のある総合学習を進めていけるものと確信している。ゴールの達成を目指して活動を進める中で、協働する力や探究する力、郷土への愛着を育てていきたい。また、全校児童や地域との交流を深めることで、地域全体に「美しい酒匂川をこれからも守っていこう」という機運を高めていきたい。



4 本時の指導

本時の目標 「総合のゴールの達成を目指す上で必要なものを出し合い、活動費用10万円のよりよい使い方について考える」

本時の学習（16／70）

学 習 活 動	教 師 の 支 援		
1. 前時までの学びを振り返る ・自分がどの調査に取り組むか役割分担した ・何について調査するか、調査に必要なものは何か、かかる費用はどれくらいかを資料にまとめてプレゼンした ・プレゼンを聞いて、それぞれの担当から出された「お金の使い方について」意見を書いた	○前時までの学びを振り返り、本時への意欲を引き出す ○「今日したいこと」を確認する		
活動費用10万円の使い道を決めたい！			
2. 手元のシートをもとに検討し合う <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> 生態系調査グループ 【植物担当】 ・記録用のデジタルカメラがほしい ・スケッチブックを買って絵にまとめる 【水中生物担当】 ・生き物を捕まえる網とカゴが必要 ・観察する虫めがねがほしい ・川で活動するのは危険もあるから、ライフジャケットが必要かも 【陸上生物担当】 ・記録用のデジタルカメラがほしい ・植物で手を切らないよう軍手がほしい </td><td style="width: 50%; padding: 5px;"> 環境調査グループ 【水質調査担当】 ・専用の薬品がないと調査できないから薬品を買いたい ・水の透明度を記録するために、デジカメがほしい ・他に何が必要なんだろう？ 【ゴミ調査担当】 ・ごみを拾うのにごみ袋が必要 ・手で拾うのは良くないから、トングを買いたい </td></tr> </table> ・私は、〇〇グループは～を絶対に買ったほうがいいと思います。理由は、それがないと調査が難しいからです。 ・買ってもいいと思うけど、もう少し安いものにしたら？ ・ぼくは、〇〇グループの～は買う必要ないと思います。前話したように、家から持ってきたり学校にあるものを使ったりできると思うからです。 ・私は、〇〇グループは予算を使い過ぎていると思うので、～を少し削ったほうがいいと思います。 ・イベントにもお金がかかるかもしれないから、調査にかかる費用を〇円ぐらいまでに抑える必要があると思います。 ・すべて調査活動に使っちゃうんじゃないくて、やってみないと何が必要かわからないとから残しておいたほうがいい。 ・たくさんほしいものが出ているけど、それぞれの担当で優先順位を決めて、優先順位の高いものから買うのはどう？ 3. 予算の使い道を決定する 4. 次の時間に何をするか、自分たちで決定する （例） ①決まりきらなかったから、次回も話したい ②使い道が決まったから、1回目の調査の具体的な活動場所を考えたい など 5. 学習の振り返りをする ・使い道が決まってうれしい。早く調べたい！ ・すぐにでも調べたいけど、もう少し話す必要がある。	生態系調査グループ 【植物担当】 ・記録用のデジタルカメラがほしい ・スケッチブックを買って絵にまとめる 【水中生物担当】 ・生き物を捕まえる網とカゴが必要 ・観察する虫めがねがほしい ・川で活動するのは危険もあるから、ライフジャケットが必要かも 【陸上生物担当】 ・記録用のデジタルカメラがほしい ・植物で手を切らないよう軍手がほしい	環境調査グループ 【水質調査担当】 ・専用の薬品がないと調査できないから薬品を買いたい ・水の透明度を記録するために、デジカメがほしい ・他に何が必要なんだろう？ 【ゴミ調査担当】 ・ごみを拾うのにごみ袋が必要 ・手で拾うのは良くないから、トングを買いたい	○前時に各担当から出されたほしいものなどを黒板に貼り出し、検討しやすくする ○前時に各自が書き出した手元のシートをもとに検討させる ○「調査に必要な物」「記録に必要な物」「安全への配慮」など、視点を整理してまとめる ○予算の効果的な使い方を意識させることで、その後の活動がより有意義に進むようにする ○イベントの開催や取り組みを伝える段階でも予算が必要になる可能性があることを引き出す 【思考・判断・表現】 総合のゴールの達成を目指す上で必要なものを出し合い、活動費用10万円のよりよい使い方について考えている ○「再検討したい」と提案された場合は、次回時間をとる ○次の探究活動への思いを書かせ、意欲を引き出す
生態系調査グループ 【植物担当】 ・記録用のデジタルカメラがほしい ・スケッチブックを買って絵にまとめる 【水中生物担当】 ・生き物を捕まえる網とカゴが必要 ・観察する虫めがねがほしい ・川で活動するのは危険もあるから、ライフジャケットが必要かも 【陸上生物担当】 ・記録用のデジタルカメラがほしい ・植物で手を切らないよう軍手がほしい	環境調査グループ 【水質調査担当】 ・専用の薬品がないと調査できないから薬品を買いたい ・水の透明度を記録するために、デジカメがほしい ・他に何が必要なんだろう？ 【ゴミ調査担当】 ・ごみを拾うのにごみ袋が必要 ・手で拾うのは良くないから、トングを買いたい		